中日新聞
西三河　2009年(平成21年)9月15日(火曜日)

友引市へは「名鉄で」

電車利用 町が初調査

幡豆町のまちおこしと名鉄の利用促進を図る物産展「幡豆・友引市」（中日新聞社など後援）が十九日午前九時から午後三時まで、同町西幡豆の祐正寺と約百㍍東の酒造会社「山崎」で開かれる。（広中康晴）

19日 幡豆で物産展

乗客減で存続が危ぶまれる名鉄西尾・蒲郡線の利用と三河湾の環境を考えるNPO法人「幡豆・三河湾ねっと」の主催。二〇〇七年から春、秋に開催しており、六回目の今回は来場者の名鉄利用状況を町が初めて調査する。名鉄利用者には、地元の名産などが当たる抽選券を、同寺近くの西幡豆駅で配布する。

同寺境内では、沖縄民謡などのバンド生演奏（午後一時）や、七チームが出場する「よさこいソーラン」の踊り（午前十時）を披露。地元の陶芸作家による焼き物、こっとう、クラフトをはじめ、豆みそやケーキ、和菓子などの食品を販売する。中日写真協会西尾支部有志による作品展、巨大布絵展もある。

山崎では酒蔵開きがあり、利き酒大会（午前十、十一時、午後二時の三回開催。各回先着三十人）や試飲、甘酒接待などが行われる。

問い合わせは、祐正寺にある同ねっと事務局＝電0563（62）2230＝へ。

幡豆・友引市で販売する商品を手に来場を呼び掛ける地元の人たち＝幡豆町の祐正寺で